

産学官連携による沖縄健康医療拠点に関するプロジェクト

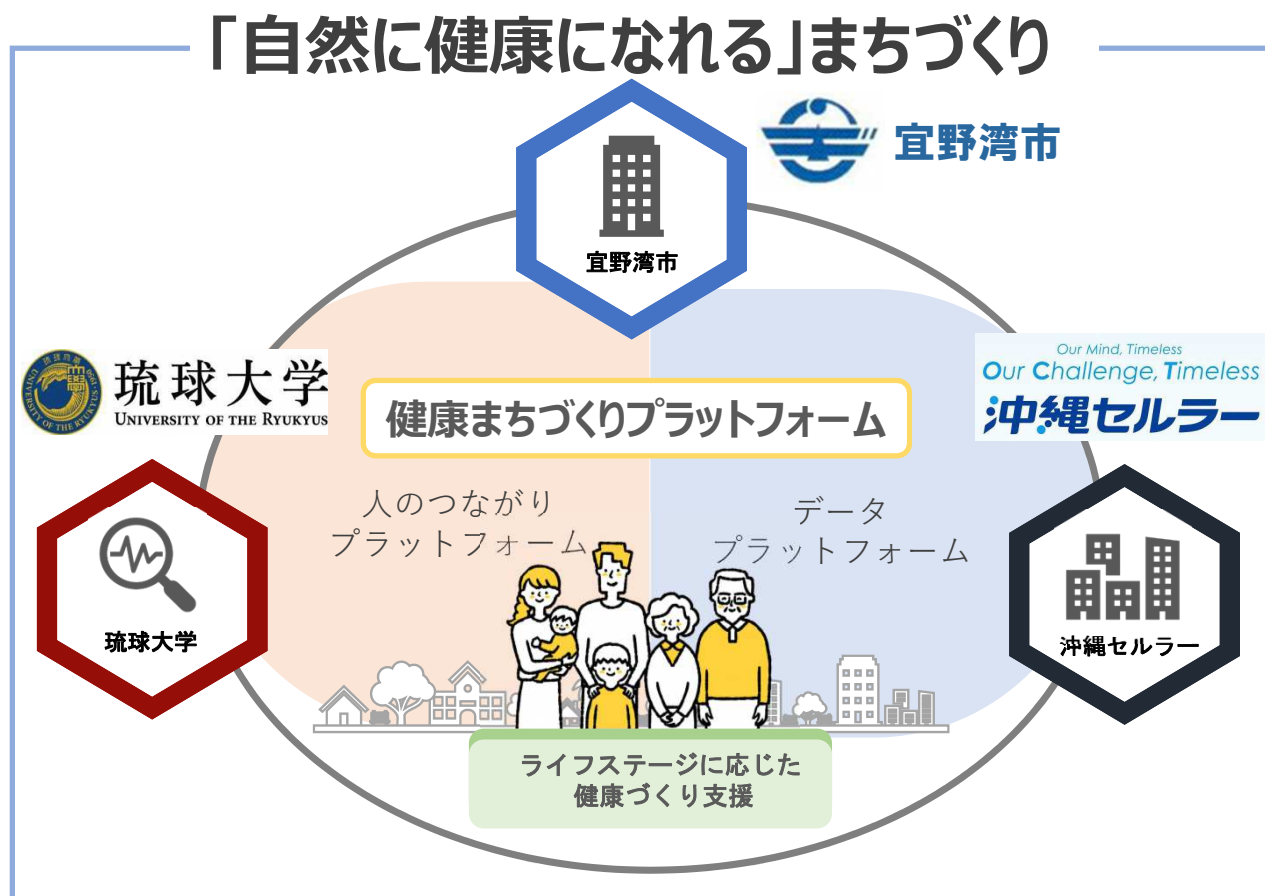
1

- 宜野湾市と琉大が共同で実施している「ぎのわん健康プロジェクト（2022年度～）」では、市民のヘルスリテラシーの向上策を中心に研究
- 研究で得られた知見を市民の健康行動に結びつけるため、沖縄セルラー電話（株）と協力し「ぎのわんスマート健康増進プロジェクト」を開始

ぎのわん健康 プロジェクト 2022-2023年度

（目的）

- ・ 健康教育、健康づくりの推進によるヘルスリテラシーの向上
- ・ 自治会を核とした健康づくりシステムの構築



ぎのわんスマート 健康増進 プロジェクト 2024年度～

（目的）

- ・ 市民の健康行動の段階に合わせた支援をするための仕組みづくり（健康アプリの開発、健康拠点の環境整備等）

3つの具体的な取組み（p4参照）

スマート健診フォロー

健康習慣構築支援

健康づくり環境整備

健康行動の段階に合わせたプロジェクトの取組と展望

2

健康への関心

小学校での食育動画の視聴、地域での健康教育・健康づくり支援や健康情報の発信等を実施。アンケート調査等でヘルスリテラシーの向上を確認。

ex. 児童・保護者へのアンケートによる分析



状態を知る

健康アプリにより、自身の健診データやバイタルデータ、摂取した食事の状況などを管理

ex. 食事データの登録管理



行動する

健康アプリで自身の状態に合った健康行動の目標を確認。また、健康行動を促すイベントなどを開催するとともに環境を整備。

イベント参加



ポイント付与



情報を調べる

健康アプリに健診データ、バイタルデータから健康行動のアドバイスを行う機能を実装。また、様々な健康情報をワンストップで取得。

ex. 健診データ、バイタルデータ等の結果に基づく健康アドバイスの表示



プロジェクトの効果分析



健康まちづくり将来像の検討



西ふてんまウェルネスタウンの実現





宜野湾市の健康まちづくり

市民が「自然に健康になれる」まちづくり

スマート健康増進プロジェクト

市民、事業者などへ対象拡大

ぎのわん健康プロジェクト

市内の様々な主体が集まり
宜野湾市の健康まちづくりの
将来像を構想

市民の健康づくり
リーダー



プロジェクト
協力市民



プロジェクト
協力事業者



学校



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

保護者



児童



小学校



地域

実証事業

地域



事業者

Our Mind, Timeless
Our Challenge, Timeless
沖縄セルラー

ぎのわんスマート健康増進プロジェクトの役割分担と3つの具体的な取組み

4

	 宜野湾市	 Our Mind, Timeless Our Challenge, Timeless 沖縄セルラー	 琉球大学 UNIVERSITY OF THE RYUKYUS
目的	・市民の健康増進 ・健康まちづくりの推進	・地域社会貢献 ・サービスの質向上、利用者満足度の向上	・健康まちづくりの推進 ・健康行動の調査
活動	・健診の実施 ・市民の健康増進に係る事業の企画、実施	・健康アプリ、コンテンツ提供 ・市が保有するデータの管理・保存	・行政データを活用した調査 ・健康増進に係る情報の作成

3つの具体的な取組み

- スマート健診フォロー** : スマホから健診予約、結果確認、受診者の状況に応じた健康アドバイス、要指導者への指導の効率化。
- 健康習慣構築支援** : スマホ等を用いアプリに設定された健康行動の実践や健康講座の受講。達成したらポイントを付与。
- 健康づくり環境整備** : 健康づくり拠点施設に必要な設備等を整備。